

竪川で水質浄化実験をスタート 埼玉県



「清流の復活」を目指す埼玉県は、水質浄化技術の効果を確かめる実証実験を竪川(川口市)でスタートさせました。

竪川は川口市を流れる一級河川で、都市排水が流れ込む影響もあり、昨年 8 月に測定した BOD は 6.9mg/l でした。

今回の実証実験は「焼却灰リサイクル砂」と「ペレット」を使用した計 2 種類の浄化技術が対象となります。

焼却灰リサイクル砂は、家庭ごみを燃やして生じた灰を約 1 千度で再処理して砂状化させ、コンクリートと合わせて直径約 1cm の粒にします。イオンの吸着効果で浮遊物などを集め、水質改善する仕組みです。一方のペレットは、粉末状にしたケイ酸塩鉱物など数種類の鉱物と、焼却したカルシウムを直径 5mm 前後の球状に加工したもので、水中の浮遊物を吸着させるとともに、バクテリアが活動しやすい環境を作り、生分解を促すものです。

実験期間は 3 月 27 日までで、県は BOD や COD、透視度などを計測し、数回にわたってホームページで公表する予定となっています。

当社では環境水・排水を中心とした水質分析、その他にも、実験における各工程排水の分析について、長年の経験と実績があります。お気軽にご相談ください。

資料 2010 年 1 月 18 日付 埼玉新聞

水質分析箇所 大塚卓也